

第15巻 編集後記

この度、『言語文化教育研究』第15巻を無事にお届けすることができました。当学会の会員数も350を超え、本巻には23本の投稿があり、うち8本が採択となりました。また2本が次巻へ持越しとなっています。

本巻では特集「言語文化教育のポリティクス」が生まれ、特集担当委員の尽力の下、多様な議論が展開されています。言語教育の実践は、関わる人々が持つ事情や取り巻く背景、環境、に影響を受ける非常に多面的、動的なものであり、それは、時々の時事や政策とも無縁ではありません。我が国の日本語教育に目を向けると、2016年11月8日に文部科学行政に精通した超党派の国会議員が「日本語教育推進議連」(会長：自由民主党河村建夫元文部科学相)を発足させ、より良い日本社会の実現に向けた日本語教育の推進が検討されており、一つの貴重な機宜が訪れていると言えます。

世界的な競争と共生が進むグローバル社会において、学習者それぞれのアイデンティティを大切にしながら、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築することのできる言語人材の育成に、言語教育はどのような役割と責務を果たすことができるでしょうか。特集では多種多様の論考が寄せられていますが、言語教育がより豊かな社会構築に貢献することを目的とした建設的な議論の手掛かりとなることを願ってやみません。

毎号続くレギュラーコンテンツとしての論文とフォーラムには、第二言語習得、市民性形成、バイオグラフィ、日本語教育、精読教科書、国家政策、アニメ、質的研究、SNS、Facebook、新しい日本語学習者、多言語、参加型研究会、教育実践、ことばの市民性、対話、新自由主義、実践研究といったキーワードに関する多くの示唆に富む論考を投稿いただきました。国際的、かつ、学際的視野に立ったこれらの考察が、会員諸氏の言語文化教育の実践と研究の参考になれば幸いです。

学会誌編集委員会・委員長 田中祐輔

学会誌編集委員会

市嶋典子 牛窪隆太 (特集担当) 尾辻恵美 佐藤慎司 佐藤貴仁
牲川波都季 (特集担当) 田中祐輔 (委員長) 寅丸真澄 仲潔
広瀬和佳子 南浦涼介 三代純平 (副委員長) 本林響子 柳田直美
山川智子 米本和弘 劉志偉 ロマン・パシュカ

査読協力者 (本巻担当)

飯野令子 岡本成子 北出慶子 久保田竜子 熊谷由理 ケード・ブッシュネル
古賀和恵 小口悠紀子 此枝恵子 佐藤正則 佐野香織 澤邊裕子
嶋ちはる 嶋津百代 瀬尾匡輝 瀬尾悠希子 武一美 徳永あかね
中根育子 中俣尚己 中山亜紀子 中山英治 永井涼子 福永由佳
古田富建 本田弘之 宮永愛子 家根橋伸子 山本冴里 義永美央子

(敬称略)

言語文化教育研究 第15巻

発行日 2017年12月31日

編集・発行 言語文化教育研究学会

事務局：〒187-8505 東京都小平市小川町1-736 武蔵野美術大学
鷹の台キャンパス三代純平研究室内

E-Mail : contact@alce.jp

DTP : ケイ商店

ISSN:2188-9600

Copyright © 2017 by Association for Language and Cultural Education